

相模湾沿岸（芦名～立石）で見られる生き物

4 芦名～立石

自然環境の特徴

芦名から立石にかけて、沿岸部には長い砂浜と民家が続きます。砂浜では、海岸植物や海岸性の昆虫の他、スナガコの巣がたくさん見られます。中間に位置する立石公園は、「かながわの景勝 50 選」に選ばれており、夕日の沈む景色が美しく、景勝地として知られています。

植物

砂浜と崖や岩上で海岸植物が見られます。砂浜ではコウボウシバやツルナ、ハマダイコンなど、崖や岩上ではスカシユリやハマカンゾウ、テリハノイバラ、ハマナデシコなど、海岸線に沿ってさまざまな植物が見られます。

スカシユリ



テリハノイバラ



ボタンボウフウ



イワダレソウ



昆虫

背後に草地のある部分で比較的多くの昆虫を見ることができます。

ウスバキトンボ



スナゴミムシダマシの一種



オンブバッタ



ショウリョウバッタ



ヒゲナガカメムシ



水生生物

周辺に湧水が流れ込んでいる場所があることから、汽水性の水生生物、特に様々なカニを見ることができます。

モズクガニ



クロベンケイガニ (メガロパ幼生)



カクベンケイガニ



アゴハゼ



ボラ (幼魚)

